



2018年6月18日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社



この夏は水と緑あふれる「青梅線」へ

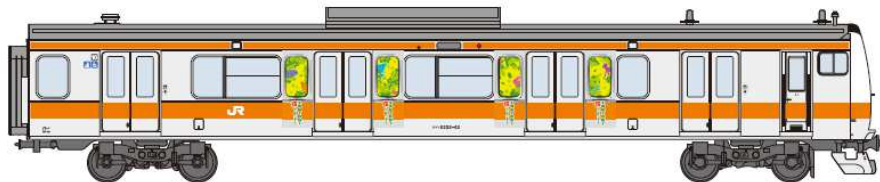
～青梅線に自然を探しに行こう！～



JR東日本では、7月から9月にかけて、首都圏のJR東日本の駅で「青梅線」エリアの魅力を重点的に発信する宣伝を展開します。

期間中は、アウトドア派に人気のフリーマガジン「フィールドライフ」とのタイアップやSNS等で、青梅線エリアの魅力を発信します。

また、御岳・奥多摩方面へのお出かけに便利な臨時列車や、ムササビや昆虫を探しながら車内の時間も楽しめるラッピング列車を運行します。この夏は「青梅線」に自然を探しに出かけませんか？



1 宣伝展開

(1) 「フィールドライフ」タイアップ ポスター・パンフレット

アウトドア派に人気のフリーマガジン「フィールドライフ」とのタイアップポスター・パンフレットを6月下旬より首都圏の各駅で掲出します。パンフレットでは、「オクタマ」と「ミタケ」、2つのエリアでトレイルランやボルダリング、ラフティングなどを楽しむ、アウトドア旅を提案します。

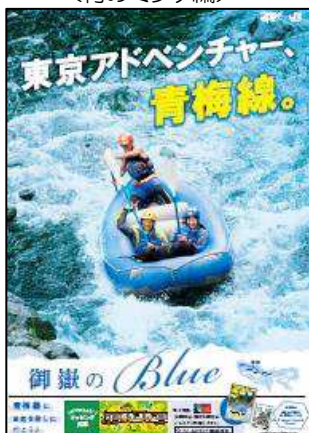
フィールドライフ本誌・パンフレットはKindle・楽天Koboでも無料でダウンロードしていただけます。また、JR東日本「小さな旅」ホームページに特設ページを開設するほか、デジタルパンフレットを掲載します。

【Kindle・楽天Kobo】公式アプリをダウンロードのうえ、「フィールドライフ No.60 夏号」で検索（7月6日以降配信）

【小さな旅ホームページ】<http://www.jreast.co.jp/ekitabi/chisanatabi/>（6月29日開設予定）

●ポスター（イメージ）

<青のミタケ編>



<緑のオクタマ編>



●パンフレット表紙（イメージ）



<主な掲載内容>

- ・「川苔山（かわのりやま）」のハイク&ラン
- ・多摩川ラフティング&ボルダリング
- ・青梅線エリアアウトドアガイド
- ・便利な電車の紹介

※パンフレットはアウトドア専門店に配布される「フィールドライフNO.60 夏号」にもとじ込みします。

- (2) 「青梅線・五日市線の旅 夏拡大号」 パンフレット
夏休みのお出かけにおススメな情報やクーポンが盛りだくさんの「青梅線・五日市線の旅」(年3回発行)を拡大号として発行しました。(5月下旬より首都圏の各駅で掲出中。)
また、多摩地域のイベント告知サイト「イマ de×タマ(イマデカケルタマ)」内特設ページでは、冊子ではご紹介しきれなかった旬な情報を随時更新します。
【イマ de×タマ内特設ページ】 <https://imatama.jp/jreast-special/>
- (3) トレインチャンネル・デジタルサイネージ
夏の青梅線をPRする動画を、首都圏を運行する列車のトレインチャンネルや、駅に設置しているデジタルサイネージにて放映します。
- (4) Facebook、Instagram
6月下旬にFacebook、Instagramに公式アカウント「東京アドベンチャー、青梅線。」を開設し、青梅線エリアのグルメや花の開花状況、イベント情報などの旬な情報を発信します。
【Facebook】 <https://www.facebook.com/jr.omeline/>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/jr.omeline/>

2 「青梅線に自然を探しに行こう！」ラッピング列車の運行

御岳山や奥多摩湖などの豊かな自然の中、動物たちや昆虫を追って探検しているような、わくわくするラッピング列車を運行します。

(1) 車両

E233系4両×2編成 立川～奥多摩駅間運行
※一部、拝島～武蔵五日市駅間でも運行

(2) 実施期間

2018年7月～当面の間

(3) ラッピング箇所

座席シート、車体ドア横、床、車両連結部ドア

(4) 運行計画

公式Facebook、Instagram「東京アドベンチャー、青梅線。」にてお知らせします。

(5) その他

各編成中1両を弱冷房車とします。

●ラッピング列車イメージ



(車内)



(車内ドア)

3 夏のお出かけに便利な臨時列車の運行(2018年5月18日プレス『夏の増発列車のお知らせ』)

(1) 「お座敷 青梅 奥多摩号」の運行

南武線から青梅線エリアへお座敷列車を運行します。土曜日の下り列車では、車内に子ども向け自然体験コーナーを設け、奥多摩ビジターセンタースタッフに沿線の生き物や自然について解説していただきます。

① 運行日 7月21・22日、8月18・19・25・26日

② 発着駅の時刻と途中停車駅

往路：川崎(8:34)～奥多摩(11:08) 復路：奥多摩(17:38)～川崎(19:55)

【途中停車駅】武蔵小杉・武蔵溝ノ口・登戸・稲田堤・府中本町・分倍河原・立川(川崎行のみ)・拝島・青梅・御嶽

<子ども向け自然体験コーナー>

① 実施日時

7月21日、8月18・25日(その他の運行日は実施しません。) 10時～11時頃(予定)

② 実施場所

奥多摩行 2号車・4号車デッキ 共有スペース

③ 実施内容



昆虫標本や動物の毛皮・動物のフンなどの展示、奥多摩ビジターセンタースタッフによる解説、塗り絵や周辺の観光案内パンフレットの設置

(2) 「快速 青梅 奥多摩号」の運行

立川から奥多摩まで乗り換えなしで楽々アクセス！夏のお出かけに便利な直通列車を運行します。

① 運行日

8月4・5・11・12日、9月1・2・8・9・15・16・22・23日

② 発着駅の時刻と途中停車駅

往路：立川（9:15）～奥多摩（10:42） 復路：奥多摩（17:38）～立川（18:55）

【途中停車駅】 拝島・青梅・御嶽

4 駅からハイキング「親水と文化の御岳渓谷散策」

予約不要、参加費無料で気軽にご参加いただける「駅からハイキング」。御岳渓谷沿いを歩きながら美術館めぐりを楽しむ、自然と文化の両方を堪能できるコースを設定しました。

(1) 開催期間と受付時間

9月1日（土）～9月30日（日） 9時30分～12時00分 ※月曜日は除く

(2) ハイキングルート（主なポイントのみ掲載）

御嶽駅～御岳インフォメーションセンター（受付）～御岳美術館～玉堂美術館～小澤酒造～沢井駅
※コースや立ち寄り箇所は急遽変更になる場合がございます。ご参加の際は事前に「駅からハイキング」ホームページ（<https://www.jreast.co.jp/ekihai/>）にて最新の情報をご確認ください。

5 青梅線の玄関口、立川駅でイベントを開催！

(1) 観光PR

6月30日・7月1日、立川駅自由通路にて、エキュート立川3F「東京観光情報センター 多摩」の1周年記念企画として、多摩地域の市町村と連携し、観光PRが実施されます。当日は、各地域のキャラクターも多数出演します。

(2) 青梅・奥多摩フェア

① 青梅・奥多摩物産展

多摩エリアの名産品を集めた物産展を開催します。

期日：6月27日（水）～7月3日（火） 10:00～19:00

場所：グランデュオ立川1F 特設正面入口（外）

内容：和洋菓子、加工品、小物雑貨など

② ミニライブ

御岳在住のシンガーソングライター「Maico」によるミニライブを開催！会場を包み込む美しい歌声をこの機会にぜひ！

期日：7月1日（日）①13:00～13:30、②15:00～15:30

場所：グランデュオ立川2F 特設

(3) リバーアクティビティ展示・イベント

多摩川川下り事業者組合による、リバーアクティビティ（川下り）の魅力伝える展示・イベントを開催します。

期日：7月15日（日）・16日（月・祝） 各日 13:00～16:00

場所：グランデュオ立川5F 特設

内容：カヌー、ラフティングボート、リバーボードなどの展示や

今夏8月1日に開催となる子どもたち限定の川イベント

「キッズチャレンジ2018～川の教室～」PRを実施いたします。



梅菓匠にしむら 梅大福
※その他多数商品もご用意します



Maico



リバーアクティビティ（イメージ）



2018年9月14日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社



青梅線が変わります



～東京アドベンチャーライン始動！～

JR東日本では、青梅線の青梅～奥多摩間に新たに「東京アドベンチャーライン」の愛称とロゴマークを設定し、自然の中で、アウトドア・アクティビティを楽しむ路線としてPRを開始します。今後は御嶽駅・奥多摩駅をアウトドア拠点としてリニューアルするほか、ヘッドマークを取り付けた電車の運行、地元と連携したPRなど、地域の皆さまと一体となって「東京アドベンチャーライン」を盛り上げます。

1 新愛称「東京アドベンチャーライン」とロゴマークの設定

(1) 「東京アドベンチャーライン」について ※JR時刻表10月号(9/20発売予定)から路線図に併記します。

① 区間

青梅線の青梅～奥多摩間

② エリアの特徴

新宿から奥多摩まで快速で90分、首都圏でありながら、気軽に自然の中で、アウトドア・アクティビティを楽しむことができ、どなたでも冒険に踏み出せるエリアです。

③ 愛称の由来

駅を降りてすぐに本格的な自然やアウトドアを楽しめる青梅線の魅力を「アドベンチャー」というワクワクする言葉で表現し、さらに「東京」を組み合わせることで東京都の一部である身近さ、アクセスの良さを強調しています。

(2) ロゴマークについて

① ロゴマークの決定

青梅線に縁のあるクリエイターからデザインを募集し、地域の皆さまとJR東日本八王子支社の投票により選出しました。



【制作者】沼倉智弓(ぬまくらさとみ)様

【プロフィール】

小学生2児の母。青梅市在住。消しゴムはんこインストラクター、おもちゃコンサルタント、糸の作家としてワークショップ開催、イベント出店などを行う。フリーのグラフィックデザイナーとしても活動中。

【青梅線への思い】

青々とした山々は近く、広い空が広がり、そこに住む人たちの温もりが魅力の青梅線。そんな思いと愛情をこめてロゴを制作しました。

【作品コメント】

青梅と奥多摩間の車内からの景色や電車自体を楽しむ、というイメージで制作しました。

② ヘッドマークを取り付けた列車の運行について

ロゴマークをヘッドマークに付けた列車を運行します。

掲出期間：10月13日（土）～当面の間

掲出車両：ラッピング列車2編成（E233系）

※1編成で運行開始。残り1編成についても10月中に運行開始予定

走行区間：立川～奥多摩間 ※走行区間に変更する場合があります。

運行計画：公式Facebook、Instagramにて公開

【Facebook】 <https://www.facebook.com/jr.omeline/>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/jr.omeline/>

※「東京アドベンチャー、青梅線。」から「東京アドベンチャーライン 青梅線」へ
アカウント名を変更（10月1日以降）



（イメージ）

(3) ロゴマークの展開について

各種宣伝物で愛称およびロゴマークをお知らせしていきます。

（宣伝物の一例）



【青梅線・五日市線の旅】
※首都圏の駅にて掲出



【ハ王子支社ホームページ】



【のぼり旗（イメージ）】



【缶バッジ（イメージ）】

2 「東京アドベンチャーライン」キックオフ記念旅行商品「東京アドベンチャーツアー」の発売

西多摩観光創出事業「Wild Tokyo プロジェクト」メンバーとのコラボレーションにより、思いっきりアドベンチャーを楽しむ日帰りツアーを発売します。

日 程：11月3日（土・祝）、4日（日）

概 要：「お座敷青梅 奥多摩号」で行く、御嶽・奥多摩 ADVENTURE TOUR

- ・御嶽コース お座敷列車で行くラフティング 半日体験&御岳山ハイキング
- ・奥多摩コース お座敷列車で行く奥多摩ハイキング&氷川キャンプ場BBQ

定 員：各コース23名 計92名（最少催行人員 各13名）

販売方法：首都圏の主な駅にあるびゅうプラザ（旅行カウンター）

電話（びゅうトラベルサービス 大人の休日予約センター）

インターネット（「日本の旅、鉄道の旅」<https://www.jrview-travel.com/>）

料 金：「御嶽コース」 旅行代金：14,900円（大人ひとり）14,400円（小学生ひとり）

「奥多摩コース」 旅行代金：9,900円（大人ひとり）9,400円（小学生ひとり）

※詳しくはパンフレット（9/19 掲出開始）をご確認ください。

【Wild Tokyo プロジェクトとは】



「Wild Tokyo プロジェクト」とは、都内・アウトドアフィールドで様々なアクティビティ、グルメ、体験を提供する観光事業者たちによるネットワークの総称です。



3 御嶽駅・奥多摩駅をアウトドア拠点としてリニューアル

御嶽駅・奥多摩駅は、現在の駅舎の魅力を活かしつつ、多摩産木材を使用しリニューアルします。リニューアル後は、御嶽駅にレンタサイクルや待合室が、奥多摩駅には待合室のほかに、靴洗い場や更衣室・カフェなどがオープンし、「東京アドベンチャーライン」のアウトドア拠点として、便利にご利用いただけるようになります。

※詳細は後日、改めてお知らせします。



【現在の御嶽駅外観】



【現在の奥多摩駅外観】

4 青梅・奥多摩もみじ協定との連携～「奥多摩 もみじ 大爆発!!」～

沿線の観光協会や商店組合等が紅葉のPRを目的に締結した「青梅・奥多摩もみじ協定」。協定では、「奥多摩 もみじ 大爆発!!」をキャッチフレーズに、エリア全体で連携して紅葉をPRします。

JR東日本では、青梅・奥多摩もみじ協定と連携し、ポスターを掲出するほか、エリア情報誌「青梅線・五日市線の旅 秋号」での特集、立川駅での観光PRを実施します。また、地元では「東京アドベンチャーライン」ロゴマーク入りの横断幕でお客さまをお出迎えします。

【青梅・奥多摩もみじ協定観光キャラバン】

日 時：10月13日（土）・14日（日）13：30～15：00

場 所：びゅうプラザ立川駅前

参 加 者：青梅・奥多摩もみじ協定参画団体

内 容：各所で開催の紅葉まつりおよび観光スポットのPR

【青梅・奥多摩もみじ協定とは】

青梅線沿線は標高差があり、10～12月を通して紅葉が長く楽しめることから、エリア全体で連携して紅葉をPRするために沿線の観光協会や商店組合等が連携して紅葉をPRすることを定めた協定です。



【ポスターイメージ】



【横断幕イメージ】

5 「第80回記念奥多摩溪谷駅伝競走大会 supported by 東京アドベンチャーライン」への協賛

今年で80回目の開催となる奥多摩溪谷駅伝競走大会へ協賛し、大会を盛り上げます。

【大会概要】

日 程：12月2日（日）

コ ー ス：一般の部、大学の部、高校の部（44.8km）、
女子の部、支会・自治会の部（11.1km）、
中学生の部、小学生の部（6.8km）

主 催：青梅市、青梅市陸上競技協会

協 賛：参加賞「東京アドベンチャーラインウォーター
奥多摩天然水」（500mlペットボトル）の提供等



【参加賞イメージ】



【ポスターイメージ】